

4 質の高い教育を みんなに



城山中学校

1 年

R 5. 6

数学

必要な棒の本数を求めてみよう

SDGs 目標 4

スクールタクトを活用した協働学習

ねらい

正方形をつなげたときの棒の本数の求め方を自分
なりの方法で考え、その考えを式や図を使って表現し
たり説明したりすることができるようにする。

日程と内容

【日程】令和 5 年 6 月に実施

○ 2 章「数学の言葉を身につけよう」

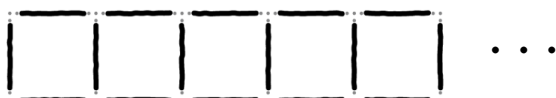
(全 18 時間)

- ・ 1 節 文字を使った式 (8 時間)
- ・ 2 節 文字式の計算 (6 時間)
- ・ 3 節 文字式の利用 (3 時間)
- ・ 4 節 章の問題 (1 時間)

○ 本時は、1 節の 1 時間 / 8 時間として実施。

【内容】

下の図のように、棒を並べて正方形を 20 個
つなげるとき、必要な棒の本数を求める。多様
な考えで課題を解決できるとともに、その考え
方を説明したり共有したりする学習を行った。
また、次時の「文字を使って表すことのよさや
必要性」の学習につなげた。



成果と課題

○ スクールタクトを活用することで、多様な
機能があり、意欲をもって自分の考えを表現
したりまとめたりする生徒が多く見られた。
生徒によっては 1 つの考えだけでなく、何通
りも自分の考えを表現する生徒もいた。

○ 画面上で他者の考え方を知ることができる
ため、思考したことを表現することが苦手な
生徒もその手立てを得ることができた。また、
すぐに異なる考えに触れたり考えを共有した
りすることができた。

○ 生徒自身がまとめたシートを提示しながら
説明する活動を実施できるため、分かりやす
く説明する力を高めることにも繋がったよう
に感じる。

● 画面上で他者の考えに触れることができる
ため、安易に他者の考えから課題解決を図ら
ないよう、個人で考える時間を十分に確保で
きるようツールの活用と時間のバランスを考
えながらの授業実践が必要である。

$$3 \times 20 = 60$$

ここは 1 回取った 1 本を
たす

$$60 + 1 = 61$$

これで 4 本

次から全部 3
本だから...

$$3 \times 19 + 4 = 61$$

57 + 4 という式で... で求められる!

